

今年の北海道パート1・暴騰する国産広葉樹

昨年の9月から始まった広葉樹原木の今シーズンの傾向は無い物高の様相が一段と定着したシーズンだったと思います。まず昨年以上に価格が上がり相場感覚が全く解らない樹種の出現です。この樹種は日本固有の樹種のカツラ材です。下の写真は旭川の銘木市に出品されたカツラ原木です。



① 2011年9月22日 300X58 上足寄産



② 2011年11月18日 440X86 十和田湖産



③ 2011年12月16日 260X52 白糠産



④ 2012年1月20日 400X66 士別産



⑤ 2012年2月28日 360X60 産地不明
碁将棋用の在庫は多少有ります。』

今シーズン小生が買い付けたカツラ原木の中で各市での天木（最高の原木）の写真です。十和田湖産を除くと70センチ上の原木が北海道で枯渇してしまったのです。服部商店は今でも日本の伝統工芸の碁将棋盤材を扱っていますが、6寸（185ミリ）の碁将棋盤を作るのに必要な原木の径は最低76センチ必要です。従って今後北海道の森林から伐採して出材する原木で碁将棋盤の6寸盤は製造が不可能になったのです。

*余談の話 『服部商店の在庫にはまだ6寸・7寸の

①～⑤のカツラ原木の買い付け原木の価格は昨年より相当高く買っていますが太い原木をそれなりの価格で買い付け出来たので結果的には間違っていなかったと思います。それではカツラ原木の価格の異常なのは、小生が買い付けに成功した原木を見たのでは解りません。他社に取られた原木⑥と⑦（買い付け成功原木より価格は高いです。）を見たら解ると思います。



⑥2012年2月28日 300X48 上足寄産

⑦ 2012年2月28日 300X50 上足寄産

上記の原木は他社に取られた原木です。⑥も⑦も①～⑤と比べると細い原木です。⑥と⑦の価格は①との原木と比較すると相当高い価格です。こう言う状況に陥っているカツラ原木の価格はどう考えても行き過ぎている『木の価値と価格が見合っていない状況』と思います。

この記事の意味は日本固有の樹種『カツラ・マカバ・セン・ホオ・エゾヤマサクラ等の国内産の貴重価値材』を必要としているお客様の買い付け価格は来年以降まだまだ上昇し、しかも凄く不安定な供給しか見込めません。又価値と価格が合っていない状況は益々強くなると思います。従って今後物作りを継続していく為には、樹種の変更もしくは多用な樹種を扱っていく事が必要だと小生は考えます。

現場第一主義

現場第一主義と言う言葉は、頻繁に使われる言葉ですが、この言葉は材木屋にとって特に大事な言葉です。昨年の9月から南洋材のアガチス現地挽きの入手が困難になって来た為に原木を製材してお客様にお届けしていますが、何分15年振りにアガチス原木を製材するので、アガチス材の原木の見方も製材方法も思い出すのに苦労しました。



名古屋港に入荷したマレーシアサラワク州産アガチス



トレーラーに積んできたアガチス原木



トレーラーから慎重に卸す作業



皮剥き (表面に付着した石等を落す作業)



製材出来る長さにカットする作業



約1週間原木を斜めにして水分を出させる作業



板に製材しました。



少し勾配を設け水抜けを良くする作業です。

25年以上昔はアガチス原木を国内で買い付けして国内で製材していました。最近20年位は現地で製材した製材品を扱ってきました。しかし一昨年の暮れ辺りからアガチスの製材品が思うように日本国内に入ってこなくなりました。理由は色々有ると思いますが、結局の所以下の5点が日本で南洋材の平割り（板）が入手困難になっている理由だと思います。

- 1、マレーシア・インドネシアの森林からの生産材が減っている。
- 2、原産地の国の主な産業が木材産業からハイテク産業に変わり木材従事者が減っている。
- 3、日本が他の国に買い負けしている。
- 4、インドネシアは原木の輸出禁止政策を続けている。マレーシアは同政策をとっていない。
- 5、価格の安さだけを南洋材に求める事は不可能になっている。

現在の日本国内は現地挽きが主流になってしまっている状況なので、僅かしか輸入されないアガチス原木を製材する施設が不足していますが、服部商店は自家工場なので十二分に今の状況に対応出来ます。

又アガチス材特有の欠点『アテ』の仕訳を如何に上手に行う事により、あらゆるお客様のニーズに対応できると思います。

ところで以下は余談の話ですが、実話なので少し紹介致します。現在の材木屋と昔の材木屋の違いを木材業界の極一部の方達は、時代が違うからの一言で片付けます。しかし材木屋とは木の良さをエンドユーザーのお客様にお届けするのが仕事です。しかし現場を知らない材木屋の多い事には、同じ同業者でも正直びっくりします。

材木屋はあくまで現場を知って毎日仕事に励む事が求められている仕事だと私は思います。

第 1 1 回 服部商店 勉強会

2012年3月24日（土曜日）午前10時～11時30分の日程で勉強会を開催しました。今回は昨年10月22日から数えて約半年振りの開催になりました。

当初は2月の開催を目指していましたが、材が集まらず3月にずれ込みましたが、多くの方が服部商店の勉強会に参加していただきました。

今回の勉強会の中身を簡単に説明します。

- 1、 サクラと表示して良い樹種シュリサクラの製材を見て頂きました。
- 2、 100本の原木があれば特選原木は多くて10本しか有りません。
- 3、 カバサクラと言う樹種は存在しない事を説明致しました。
- 4、 サクラ色とはどんな色をしているかをご説明申し上げました。
- 5、 乾燥道中狂いの起きにくい製材方法とはこう言う方法ですと見て頂きました。



シュリサクラの製材品を説明しています。↑

↑サクラとカバの色の違いを説明しました。

今回の参加して頂いた方で一番遠方の方は千葉県房総から来て頂きました。12年ぶりにお会いした方もおみえになり内容の濃い勉強会だったと思います。



今回の勉強会を収録しましたDVDが有ります。

勉強会に参加できなかった方でサクラとは一体どんな色をした樹種なのかを勉強したい方は別紙の申し込み用紙にてお申し付け下さい。

別紙の申し込み用紙にて記入の上ブルーレイもしくはDVDどちらかをお選び頂いてお申し付け下さい。

制作費が掛かっていますので実費にてご負担願います。500円の切手と申し込み用紙を同封の上お申し付け頂ければ大変嬉しく思います。

小生が凄く嬉しく思いましたお言葉を最後にご紹介させていただきます。

先日は久しぶりにお会いできて嬉しかったです。12年前と同じ姿勢で商売に取り組んでおられるのがよくわかりました。今後ともよろしく願います。

岩佐工務店 岩佐政徳

* 第11回服部商店勉強会の映像が見たい方はこの用紙と500円の切手を同封にてお申し込み下さい。



1、DVD 希望

2、ブルーレイ希望

会社名	
担当者名	
ご住所	
お電話番号	
FAX 番号	

(株)服部商店
〒 596-0011
大阪府岸和田市木材町 16-1
TEL 072-438-0173
FAX 072-422-8577